

【3-2】日常生活支え合い実践事業

町内サロン交流の場づくり事業 (鯖江市)

基礎情報

実施地域 鯖江市 豊地区
実施主体 鯖江市 当田町公民館
所在位置 鯖江市当田町2 1-4-6
代表者 サロンなごみ会代表 小嶋千代子



平成23年度の事業概要

- ・ 町内にある公民館の一部を改修し、交流スペースの備品を配備することで地域住民が気軽に顔を出せるような居場所づくりを行う
- ・ 建物入り口の段差解消 洋式トイレの改修 玄関廊下手すりを設置し、身障者、足腰の悪い高齢者でも、施設を利用できるようにする
- ・ 和室には座椅子も設置して安心して参加ができるようにする

現在の活動状況

平成23年10月から、地域住民に対し施設の無料開放を実施

《概要》

- ・ 毎週火、木の午後1時～4時を開放し誰でも出入りする事ができる。
- ・ 第2週木曜日サロン活動 年間を通じ実施している。
- ・ 世代間交流事業は毎回多くの住民が参加している。

《維持管理》

- ・ 公民館の鍵等の管理は区長が行っている
- ・ お茶、コーヒーはなごみ会が購入補充している

《利用状況》

- ・ 1日、3～4名程度の利用がある 殆どが65歳以上の女性

事業の実績、成果

- ・ 1日、3～4名程度の利用がある
利用者のほとんどは65歳以上の女性になっている
- ・ 老人の引きこもり防止や世代間交流などでは孤独感の解消につながっている
活動の実施、実績のなかで利用率の幅が増ってきている

工夫した点

季節に応じた料理、手品、歌声、クリスマスケーキ作りなど参加型の内容にしたり、高齢者の犯罪、自損、交通事故予防策などの自己防衛の施策、認知症の問題など身近な話題を取り入れ、多くのお年寄りに幅広く満足してもらえるよう工夫している。

また、世代間交流事業では高齢者から子どもたちに昔のことを語ってもらったり伝承遊びを行っている。



事業の財源

- ・平成23年度は地域支えあい体制づくり補助金で、誰もが利用できるよう町内公民館を整備。
- ・サロン運営は教材費として一部自己負担あり。世代間交流事業は町内団体からの助成金でまかなっている。

課題

- ・町内において男女とわず高齢者が増加してきている。男性の参加者が少なく、男性高齢者の居場所づくりにはなっていない。
- ・財源に工夫が必要である。

今後の目標 H25

年を追うごとの高齢者の大幅増加にともなう防災、災害時避難など大きな問題がある。たえず非常時を想定した取組みも必要とされるため、SOSチェック活動を町内へ提言していく。

高齢者の引きこもり防止や子どもたちの心身の健やかな成長のため、地域の人たちに周知しながら交流事業を進めていく。

また、男性の参加者が増えるよう工夫するとともに他地区との防災交流も求めていく。



団体からのメッセージ

福祉関係、民生委員を中心としたサロンスタッフ6名は平均年齢66歳！

多くの高齢者が元気で笑顔で集まり、笑顔で家庭へ戻ってもらうコレが励みになります